

北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクト 準備会合の開催について

1. 趣旨

北海道は、広大な土地資源を背景に、大規模な稲作、畑作、酪農等の土地利用型農業を中心に展開し、農業産出額は全国第1位となる1兆2593億円（平成30年）を誇っています。

農研機構は、帯広畜産大学と平成31年4月に連携協定を締結し、北海道十勝の農業・食品産業分野におけるスマートフードチェーン構築を目的として、共同研究を推進してまいりました。

今般、農研機構は、最新のAI・ICT等の技術を活用した「農業・食品版Society5.0」の早期実現を目指し、最先端のスマート農業技術及び品種開発技術等の研究成果を挙げてまいりました。

北海道十勝発スマートフードチェーン構築のためのプロジェクト化に向けて、インパクトの大きい成果の達成と早期実用化のため、関係機関の皆様との連携等の取組みについて、広く議論することを目的に、本準備会合を開催いたします。

2. 開催日時：令和3年3月4日（木）13:00～16:30

3. 開催方法：オンライン開催（YouTubeによるライブ配信）

配信URL：<https://39live.jp/nken0304>



配信サイト 2次元バーコード

4. ご案内先：民間事業者、生産者、農業団体、行政機関、大学等

5. 定 員：視聴制限無し（事前申込は不要です。）

6. 参加費：無 料

7. 主 催：農研機構

8. 後 援：北海道

帯広市

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

国立大学法人帯広畜産大学

ホクレン農業協同組合連合会

フードバレーとかち推進協議会

9. 次 第

- (1) 開 会 13:00
- (2) 主催者挨拶 13:00～13:05
農研機構 理事長 久間 和生
- (3) 来賓挨拶 13:05～13:15
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事長 田中 義克 様
国立大学法人帯広畜産大学 学長 奥田 潔 様
- (4) 「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクトの検討状況」について 13:15～13:25
農研機構 北海道農業研究センター 所長 安東 郁男
- (5) 招待講演 13:25～13:45
「北海道十勝が進める生産者支援システムの取り組みについて」
～十勝地域組合員総合支援システム（TAFシステム）の概要～
十勝農業協同組合連合会 農産部農産課 考査役 前塚 研二 様
- (6) 講演「北海道十勝発スマートフードチェーン構築に向けた技術開発」 13:45～15:00
- 1) 「畑作物の生産に貢献する高解像度メッシュ気象情報等の ICT 収量予測」
農研機構 北海道農業研究センター 大規模畑作研究領域長 村上 則幸
- 2) 「大規模畑作の生産最適化を目指したデータ駆動型スマホ農業の展開」
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部長 竹内 徹 様
- 3) 「北海道十勝産農産物の機能性評価」
国立大学法人帯広畜産大学 理事・副学長 福島 道広 様

～～ 休 憩 (15分) ～～

- (7) パネルディスカッション 15:15 ～16:25
進行：農研機構 北海道農業研究センター 所長 安東 郁男
テーマ：「北海道十勝発スマートフードチェーンプロジェクトが目指す地域特性を
活かした食と農の産業競争力の強化」

株式会社NTT アグリテクノロジー 代表取締役社長 酒井 大雅 様
ホクレン農業協同組合連合会 農産事業本部 農産部 雑穀課長 本郷 徹 様
十勝農業協同組合連合会 農産部農産課 考査役 前塚 研二 様

北海道十勝総合振興局 産業振興部長 安田 貞彦 様
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部長 竹内 徹 様
国立大学法人帯広畜産大学 理事・副学長 井上 昇 様
農研機構 理事 梅本 雅

(8) 閉会挨拶

16:25～16:30

農研機構 理事 折戸 文夫

10. 事務局 (連絡先)

農研機構 北海道農業研究センター 事業化推進室 瀧川・八木

Tel. 011-857-9212・9414 Fax. 011-859-2178

e-mail : hkd_tokachi_sfc@ml.affrc.go.jp

※内容が変更になることもございますので、ご了承ください。

—以上—